

# エコニュース さって



第 42 号

平成 24 年 3 月 21 日  
幸手市市民環境会議  
(さって市民環境ネット)  
TEL48-0331

## 市民環境講座

### 第 3 回 環境学習見学会 平成 24 年 1 月 18 日 (水) (郊外学習)

コース：幸手市役所→フジッコ(株)関東工場→十勝大利根工場内(昼食)→利根導水総合事業所→幸手市役所 参加者 30 名

#### フジッコ関東工場では

会社概要等の説明を受け 10 名の 3 班に分かれ工場見学へ、佃煮の原料の昆布は釧路産を使っていて昆布の良し悪しによって価格が変動すること、食品の安心・安全の為、放射線検査、窒素充てん包装、真空パック包装をいち早く導入し、電源についても 2 機のディーゼル発電機とソーラーパネルで場内の 7 割の電気を賄える事等、勉強になりました。



フジッコ関東工場(北川辺)の作業の様子

#### 利根大堰は

43 年前東京オリンピックの水需要に向け、合口取水場として造られ毎秒 100 t からの取水量(小学校のプールが 2 秒で満タン)を誇る。取水した水は 5 つの水路を通り、東京、埼玉、群馬に運ばれる。驚いたのは、隅田川をきれいにするための水源であること、利根川の下の水路を通して群馬にも流れていること、武蔵水路を通して荒川に水を流していることでした。また、大堰自然の観察室より魚道を観察でき、5 月にはアユ、11 月にはサケが川を登るのが見られ去年は利根川に 1 万 5 千匹のサケが来たことでした。帰りがけ羽生にある中川の原流を見ることが出来ました、ごみも多く水たまりのようなものでしたが、これが中川になるのだと私は秘かに感動しました。(参加者の声を抜粋しました。)

報告： 松本 章



中川の  
起点  
(羽生市)

行田の大堰(利根川から取水)(5 つの水路に分水)

## 第 79、80 回腐葉土づくりの会

新年度最初の熟成腐葉土の頒布

第 2 基の 2 回目の切返し、

3 基目の 1 回目など実施！！

今年もジャガイモ（キタアカリ、ダンシャク、メイクイン）

30 kg を植えました！！



2 月 19 日（日）3 月近くになりましたが、ここのところ相変わらず毎朝、氷点下 5 度付近まで下がり、庭の水道の蛇口が凍てました。今回は春野菜の土壌作りのために新年度最初の熟成腐葉土の頒布することをもって前回に続き 24 名が参集しました。

冒頭に会長から 2 月 23 日（土）の第 4 回市民環境講座で、「原発のことをもっと知りたい」の開催案内があり、関心のある方は出席を要請後、事務局から作業案内をして作業を開始しました。男性群は 2 基目、3 基目のそれぞれ 2 回目、1 回目の切返しを行いました。男性の一部と女性群は昨年度の残りの熟成腐葉土及び新年度熟成腐葉土の袋詰めを行いました。非常に寒い日でしたが皆力仕事で身体が温まりました。切返しと袋詰めが終了後、熟成腐葉土を頒布し、多く欲しい人は 3 袋持ち帰る方もいました。

次回は、3 月 4 日（日）10 時から種ジャガイモ植えを行うので、直接畑に集合することを約束して散会しました。

なお、一部の有志でタマネギに 2 回目の追肥（化成肥料、チッソ・リン酸・カリ=8・8・8）を行いました。降雨が少なく、極寒が続いているので残念ですが先月よりも茎枯れが増えていました。特に赤タマネギが半分以上枯れてしまい、また浅目に植えた苗は土が凍てて根が浮き上がってしまって枯れてしまったようでした（澤村邦夫）。

**第 80 回腐葉土づくりの会**は、3 月 4 日（日）を予定しましたが、前日まで続いた雨で畑がぬかってしまって種ジャガイモ植えを 11 日（日）に延期しました（ただ、地主から 4 日の夕方、ぬかっていましたが何とか畑を耕したとの連絡がありました）。しかし、5 日から雪も降り、8 日、9 日、10 日も雨降り、11 日（日）は晴れましたが、畑が種ジャガイモ植えをできる状態ではありませんでした。次週の週末（18 日）も天気が悪く、事務局判断で、急きょ、ウイークデイの 14 日（水）に実施することに案内をしました。春の天気は 3 日続かないと言われていいますのでやむを得ない判断だと思います。

急きょ決めた、ウイークデイの 14 日（水）にもかかわらず、15 名の出席がありました。事務局から、3 月 3 日に、ジョイフルホンダでキタアカリ 20 kg、男爵 5 kg、メイクイン 5 kg を、それぞれ中サイズを購入、更に殺菌用灰を購入した旨の報告があり、種ジャガイモ植えの作業案内がありました。種ジャガイモは半分（約 50 g）に切り、切り口に殺菌用灰を付けました。畝なわを使って高さ 15 cm 程の畝を 1 m 間隔で作り、ジャガイモ間隔は 35 cm、深さ 10 cm 程で切り口を下に向けて植え、ジャガイモの間に一握りの化成肥料を元肥として施肥しました。肥料は効果を促進するために土を被せました。畝は 11 本ができました。今後、5 月の連休中に芽欠き、追肥、土寄せを行い、収穫は 6 月末から 7 月上旬の予定です。

なお、残ったキタアカリ 33 個を 11 人で 3 個ずつ（6 本の苗ができる）シェアし、持ち帰って各位栽培されます。

タマネギは赤タマ半数以上が枯れ、ふつうタマは 2 割程枯れていました。雑草がありましたので草取りを行いました。5 月末から 6 月初旬に収穫予定です。

次回は、18 日（日）10 時から切返し作業と熟成腐葉土頒布をすることを約束して 12 時前に散会しました（澤村邦夫）。

# 市民環境講座

## 第 4 回 テーマ「原発のことをもっと知りたい！」

平成 23 年 12 月 10 日（土） 中央公民館

### 「放射性物質と食の安全」

講師：コープネット事業連合品質保証本部 内田正弘氏

放射性物質って何だろう？ “ 正当に恐がること ” とは？消費の現場の最前線にいる生協としてどう向き合えばいいのかを軸に放射性物質の種類により放射線量の違いや特徴、外部被ばくと内部被ばくによるセシウム 137 の半減期について、そして自然界の放射性物質にあるカリウム 40 を多く含む食品の量など様々なデータをもとに説明がありました。

### 「原子力発電の安全・安心」

講師：さて市民環境ネット 本田 宏氏

原子力発電の事を本当に知っているのだろうか...そして「福島 3.11」安全神話の歴史から崩壊への実態の説明がありました。アメリカの原発建設立地条件として人が住んでいない所（低人口地帯）直ちに避難できる所がありますが、国土の狭い日本では建設が不可能になるため「安全神話」がどうしても必要になりました。過去に起こった原発事故から見えてくるものに原発に係わった工事関係者の中には専門の知識が低い作業者も居たとの事。第 2 の安全神話は政府による低温停止宣言とストレステストがありますが...。「食品の新しい放射能基準を 4 月から実施」「原発 40 年で原則廃炉へ」これで食品の安全・安心、原子力発電の安全性について、本当に大丈夫でしょうか。それは私たち、ひとりひとりがその中身をもっとよく知ることから始まります。

報告 宮田尚美

### 講演後の Q&A

最良な節電方法は？→電気会社を選べない私たちがアンペアダウンする事がまず、第一歩。市販の東北産のお米は？→生協では全量・全品モニタリングで検査をしています。

## 「菜種油の配布」について （報告）

昨年 6 月に行った「みんなの力でなたね油を！！」

（菜の花の刈り取り）では 22Kg の菜種が収穫されました。

一昨年の 66Kg より少ない数量でしたが業者（上尾市）に持ち込み菜種油にしてもらいました。

175cc 入りの瓶詰で、何ら混じりけのない焙煎し搾っただけの

油です。イベントに参加されました方たちにご家族 1 本の割合で 40 本を配布しました。既報の通り、去る 1 月には幸手小 5 年生の総合学習でこの油を使ったクッキー作りに子供たちが挑戦し、美味しいココアクッキーを焼き上げました。

また、市・社会福祉協議会より事業補助金を受けましたが、残念ながら本イベントは諸般の事情により今年（H24 年春）は中止となりました。

報告： 中山 駿



## 交流会参加報告

**川の再生交流会** ～みんなでつくろう川の国埼玉～ H 24 年 2 月 4 日(土)

さいたま市民会館うらわホール(主催:埼玉県 協力:埼玉県河川環境団体連絡協議会)  
県内の川の活動団体が一堂に会し、情報交流を行う川の再生交流会を開催されました。

午前の部:表彰式: 川の国埼玉フォトコンテスト

活動事例発表:○鴻巣市立下忍小学校 ○川・まち・人プロデューサーズ

○川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉 ○水辺の里親西原会

午後の部:(第1～第6分科会)第2分科会 水質改善、排水対策、下水と浄化槽

分科会毎の意見交換: さて市民環境ネットの本田宏さんが司会を務め進行

報告: 八木元則

**エコ・リサイクル交流集会 2012**(第23回目) H 24 年 2 月 17 日(金)

さいたま市文化センター多目的ホール(主催:特定非営利法人埼玉エコ・リサイクル連絡会、後援:埼玉県)  
彩の国から再生可能エネルギーを!～地産地消を増やし、持続可能な社会をめざす～

来賓:埼玉県環境部資源循環推進課 課長 渡辺 充さま

事例発表:環境にやさしい小水力発電設備の導入・さいたま市水道局 有吉寛記様  
- 水道水を用いた小水力発電によりクリーンなエネルギーを効率的に創出 -

講演:「地域でエネルギーを自給する」

講師:未来バンク事業組合 理事長 田中 優 氏

- ・原発事故による放射能の影響と対応について
- ・節電し、自然エネルギーに変えていくには
- ・誰が電気を消費しているのか。電気は貯められない。なぜ事業者はピークを作るのか
- ・デマンドサイド・マネジメント(発電供給に合わせて需要を下げさせる)
- ・電気の自給(太陽光発電、風力発電、地熱発電 等)洋上ハイブリッド発電(九州大学)

報告: 八木元則

## お知らせ

**第6回『中川探検ウォーク』開催!**春の小川は、生き物たちの生命に満ちて  
～春の声をさがしに、木漏れ日の小路を歩いてみませんか～

- 期日: 平成 24 年 4 月 14 日(土)・雨天中止(10 月に実施)
- 場所: 中川(幸手市東公民館～天神橋付近までの散策)
- 集合: 午前 9 時 45 分～午前 12 時頃まで
- 会費: 100 円
- 申し込み: 市民環境ネット(42-8412 本田 宏)
- 持ち物: カメラ・双眼鏡・図鑑(植物・野鳥など)・・・ある人は  
水筒・雨具・薬品・軍手・歩きやすい服装
- 参加人数: 20 名まで
- その他: 観察に参考になる資料は当日配布予定

**幸手の環境活動グループ:**幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、  
幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、  
上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、幸ネット(子育て  
支援ネットワーク)いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園 20 期)